

櫻沢 保議員
さくらざわ たもつ

問 スマートインターチェンジの名前に「ガツカリ」

答 ご理解願います (町長)

問

スマートインターチェンジは、今から10年以上前の平成17年4月15日に地元3町(寄居町・岡部町・美里町・当時は野口町長)による勉強会が開始され、平成24年4月17日に高速道から一般道への連結許可が下り、これまでの仮称は、寄居P Aスマートインターチェンジとされて

いました。

今回、供用開始の時期が平成30年4月以降で開始時期も未定となり、また名称原案が「寄居スマートインターチェンジ」とされ、大変残念でもあり納得がいきません。

そこで、町長に質問します。

①実施計画書では、高速道から一般道への連結のために要する費用の総額は、概算で26億3000万円。このうち地元3市町の費用は、約半分の13億7000万円です。

また、町提出の(仮称)寄居P AスマートIC事業決算額・予算額によると、これまでの支出総額は、10億1655万8493円であり、このうち美里町が9億6739万4328円(95・16%)、寄居町が4273万1785円(4・2%)、深谷市が643万2

380円(0・63%)となっています。

美里町が、このように沢山お金をを出しているのに、何故、名称原案が「寄居スマートインターチェンジ」なのでしょうか。

また、町提出の(仮称)建設中のインターチェンジは、3市町の境界線上にあり、それぞれ約、美里町役場まで1キロ、寄居町役場まで8キロ、深谷市役所まで11キロです。この場所・位置にありながら、なぜ、単に「寄居スマートインターチェンジ」なのか。

③我が町の近くには「本庄・児玉インターチェンジ」があります。

また、上越新幹線には「燕三条駅」があり、一方、高速道路には「三条・燕インターチェンジ」があります。各市町とも施設の名称にこだわっています。

施設の名称は、大変重要で大事です。孫子の代でも変わりません。ぜひ、町長が政治力を発揮し、また創意工夫・努力していただき、インターチェンジの名前の中に美里町の「ミの字」くらいは入れるよう「名称原案」の変更をお願いします。

町長

国土交通省が定めたスマートIC制度実施要綱の運用の中で、原則としてパーキングエリアに設置されるインターチェンジは、当該パーキングエリアの名称を使用することとされていることから、名称原案を寄居スマートインターチェンジとしました。ご理解願います。

また、上越新幹線には「燕三条駅」があり、一方、高速道路には「三条・燕インターチェンジ」があります。各市町とも施設の名称にこだわっています。

施設の名称は、大変重要で大事です。孫子の代でも変わりません。ぜひ、町長が政治力を発揮し、また創意工夫・努力していただき、インターチェンジの名前の中に美里町の「ミの字」くらいは入れるよう「名称原案」の変更をお願いします。



各市町へのアクセス道路の建設費も含めた全体事業費に対する負担割合は、深谷市18.2%、寄居町24.1%、美里町57.7%となっています。詳しくはネット(美里町ホームページ)でみてね。



田端 恵美子議員

問 介護予防による百歳体操について

答 地域のつながりが深まり、大きな効果が期待できることから継続していきます (町長)



問 現在、多くの自治体でいきいき百歳体操による介護予防に力を入れていて、その効果に厚生労働省も注目しています。筋肉の向上のみならず、ご近

所とのつながりを深め、お互いに支え合う関係づくりにもつながります。本年度のいきいき100歳体操のサポーター養成講座等を行う政区ではどのように進めていくのか、伺います。

町長

町では、今年度高齢者の筋力づくりを目的とした「元気いきいき100歳体操」を推進するため、地域で指導的な立場となるサポーターを養成する講座を実施しました。町としても、介護予防が図れ、地域のつながりが深まる中で大きな効果が期待できることから、引き続き元気いきいき100歳体操を推進す



北阿那志で行われている100歳体操

学校での心肺蘇生教育等について

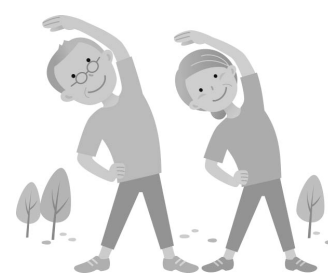
問

突然の心停止から救える命を救うためには、心肺蘇生、AED(自動体外式除細動器)の知識と技能を普及させる必要があります。学校での心肺蘇生教育は、その柱となるもので

教育長

小中学校における児童生徒への心肺蘇生教育の現状とAEDの設置状況、さらには教職員へのAED講習の実施状況などを伺います。AEDは全校に設置しており、設置場所については、校庭から見える場所に「AED設置」の表示をし、誰にでも目視できるように整備しています。教職員対象のAEDを含む心肺蘇生法研修については、児玉広域消防本部美里分署の署員を講師として、全ての小中学校で毎年実施しています。児童生徒対象の学習については、中学校学習指導要領に

示されているように、中学校2年時に保健体育の授業の中で、傷害防止について学んでいます。なお、小学校では、発達段階の関係から学習は行っていません。組織的対応に関する危機管理マニュアルも全校に整備しており、事故が発生した場合、迅速に対応できる体制を整えています。



百歳体操の注意点として「1回運動したら2・3日休みましょう」と言われています。無理なく継続しましょう。

問

美里町内小学校の統廃合について

根本 孝代議員

答 小学校統廃合は長寿命化計画を作成し総合的に検討する (教育長)



問

小中学校は義務教育施設と言われ、他の教育施設等と異なり、学校教育法38条と49条において設置が義務づけられています。美里町においては、小学校は東児玉小・松久小・大沢小の3校、中学校は美里中の1校が設置されています。それら学校の児童生徒数は、少子化の影響を受け減少しています。同様に小学校の学級数は減り、近い将来、複式学級のある6学級未満になるのではないかと心配です。

3歳78名、4歳86名、5歳88名です。今後の児童生徒数の推移を考えたとき、増加に転じるのは厳しいと思います。

教育長

美里町も将来的には小学校統合という選択肢もあると考えています。なお、現在ある教育施設の計画的な老朽化対策を進めていくために、平成31年度までに個別施設ごとの長寿命化計画(個別施設計画)を策定する作業を進めています。小

町長

学校統合については、この長寿命化計画を作成する中で、児童数減少による教育条件の悪化や課題、効果的な施設の維持管理や地域のさまざまな状況等を踏まえて、総合的な観点から検討を行います。町内3校の小中学校をこのまま維持することにすると、当然施設の劣化状況を見て改修・改築するの、将来の人口がどのようになっているのかといった判断材料を明確にし、住民保護者の意向を聞くといったことを行わなければなりません。また、今「まち・ひと・しごと総合戦略」の中で、小学校入学を契機に帰ってくる

人をふやそうという政策を推進しているの、並行してどんな資料作成をしたらよいか見定め、協議を行っていくと考えています。また、既に東児玉小学校では、給排水設備の耐用年数が懸念されていますが、10年から15年間は現在の施設を維持したいと思

平成29年4月の町内の年齢別人口を見ると、0歳67名、1歳77名、2歳69名



町内3小学校合同の「6年生スポーツ交流会」

進めています。小



近い将来、小学校統廃合はあるのかなあ?